(7)河川・水路

1)神崎川

調査区域に南接する神崎川は、摂津市の一津屋で淀川から分岐し、相川で安威川と、加島で猪名川と合流し大阪湾に流れこむ。明治の付け替え工事など幾度も改修され、古くから農業用水や水運に使われてきた。明治以降は尼崎港の近代化とともに工業化が進み、神崎川沿いに工場立地が進んだ。そのため工場排水による汚染が進み悪臭を放ったが、戦後防潮堤整備や川底のしゅんせつ、下水道の整備などにより、水質の改善が図られ、現在では水鳥など多数の生き物の住める川になっている。

(参考) 神崎川ネオ・リバープラン【大阪府・平成 8 年策定】

神崎川は、大都市に残された水と緑を有する貴重なオープンスペースであり、人々のふれあいの場として、身近な自然とふれあう場として、やすらぎとうるおいのある親しみのある川として、地域社会に調和した都市のオアシスの確立を目指し、5 つの方針に従って河川空間の整備を図る。

(5つの方針)

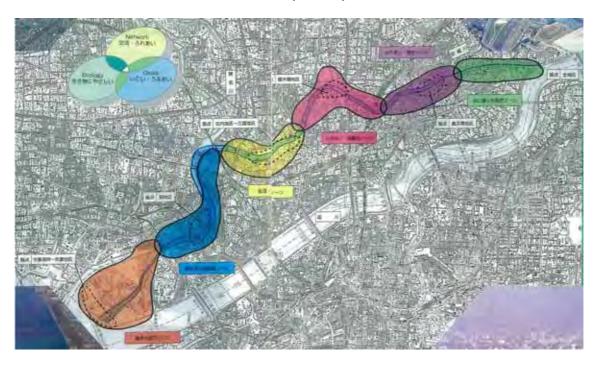
都市の中の貴重なオープンスペースとして、やすらぎとうるおい及び安全性を与える空間を作ります。

高水敷へ人々を誘導し、ふれあいとにぎわいのあふれる空間をつくります。

周辺の公園、集客施設との連携を図り、地域のシンボルとなる空間をつくります。

神崎川の歴史や現状を積極的にアピールできる空間をつくります。

神崎川全川に連続性を持たせ、異なる河相 (川の姿)に配慮します。



【調査区域を含むゾーンの位置付け】

にぎわい・活動のゾーン

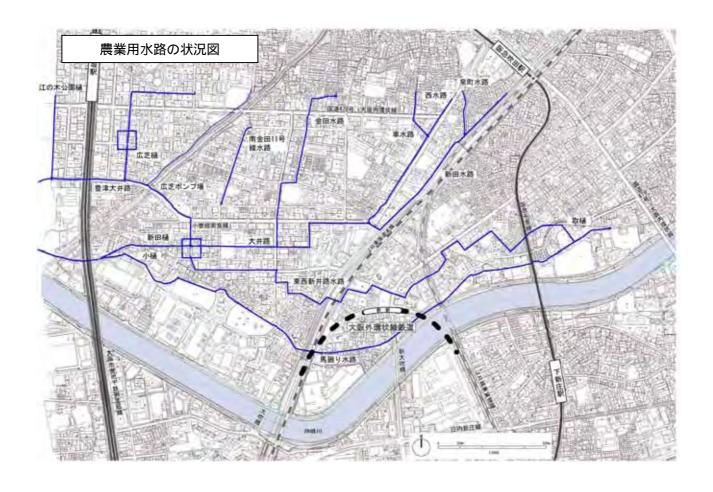
背後の商業系集客施設や、ビオトープ(生物の生息する空間)、桜づつみなど環境整備事業とのネットワークを つくり、高水敷に人を誘導して、レガッタ観覧や新しいイベントのできる水辺空間の整備を図るゾーンです。

ふれあい・歴史ゾーン

史跡、神事など、神崎川に関する歴史的スポットを活用して神崎川への親しみや興味を高める施設整備を図るとともに、高水敷を利用したせせらぎの創出及びイベントの場としての整備を図るゾーンです。

2)農業用水路

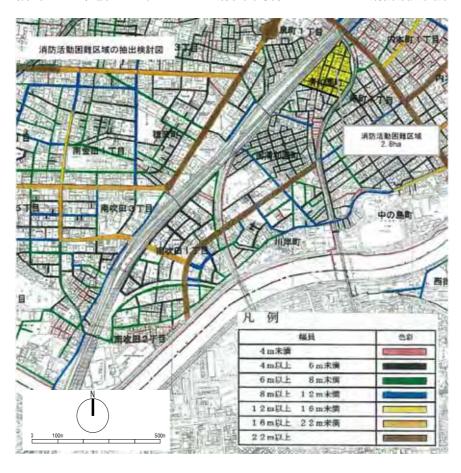
調査区域は古くは田園地帯であったことから、農業用水の馬廻り水路や東西新井路水路が通っている。これらの水路は既に暗渠化されている部分も多い。



(8)市街地の防災性

1)消防活動困難区域

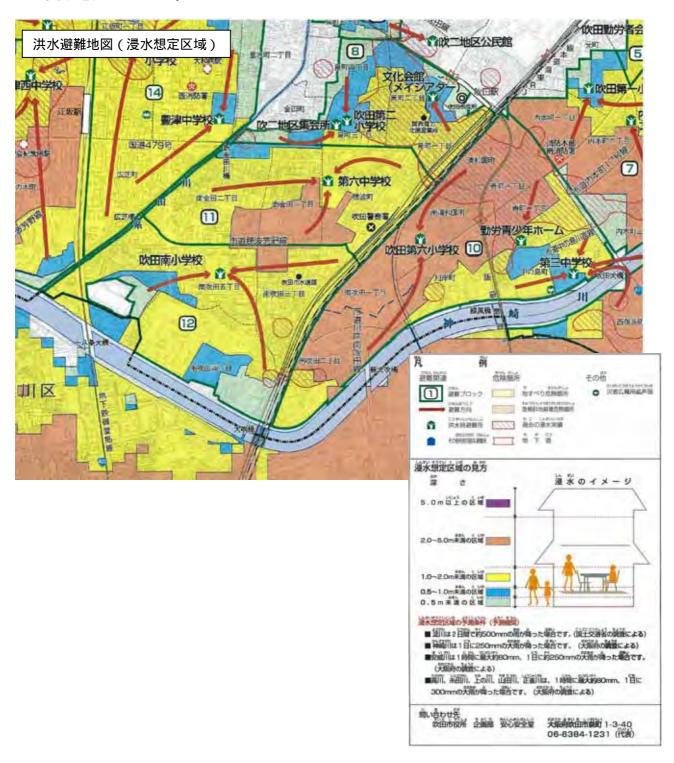
消防活動を円滑に行うための必要幅員 6mの道路又は消防水利が適正に配置されていないため、消火活動を行うには極めて条件が悪い区域として、幅員 6mの道路から 140mの範囲以外の区域を消防活動困難区域として抽出すると、調査区域においては清和園町付近の 2.4ha が消防活動困難区域となる。



2)浸水想定区域(洪水八ザードマップ)

大雨による洪水が発生した際の浸水想定区域をみると、JR 東側の南吹田一~二丁目や南清和園町、清和園町、川岸町の一部などが、浸水深さ 2.0~5.0mと予測がされており、洪水時避難所には吹田第六小学校が設定されている。

JR 西側の南吹田三丁目などは、浸水深さ 1.0~2.0 mと予測されており、洪水時避難所には吹田南小学校が設定されている。



(9)生活利便施設等

【大型店舗の立地状況 (店舗面積 1,000 ㎡以上)】

吹田市内には店舗面積が 1,000 ㎡を超える大規模小売店舗が、43 店舗有り、調査区域周辺半径 3 kmの範囲においては 14 店舗が立地している。

吹田市内の大型店舗の立地状況(店舗面積 1,000 ㎡以上)

平成 17 年 12 日末現在

吹田中内の人型店	#の立地状况(店舗囬槓 1,000 m以上)	平成 17 年 12 月末現在
種類	店舗名	
	1 イズミヤ千里丘店	
	2 吹田さんくす(含ダイエー吹田店、吹田さんくす専門店往	j)
	3 ジャスコ南千里店	•
	4 北千里サティ	
	5 大丸ピーコック山田店(山田北ショッピングプラザ内)	
	6 ニッショーストア緑地公園店(バンブー緑地公園内)	
	7 阪急オアシス北千里店	
	8 大丸ピーコック北千里店	
スーパー	9 ファッションデポ吹田店	
~ ^	10 サカエ江坂店	
	11 山甚ビル(含コーヨー北江坂店)	
	12 デイリーカナートイズミヤ山田西店	
	13 メラード佐井寺(含関西スーパー佐井寺店)	
	14 アザール桃山台(含阪急オアシス桃山台店)	
	15 ライフ吹田泉町店	
	16 コーヨー山田店(デュー阪急山田内)	
	17 マックスバリュ千里丘店	
	18 フレンドマート岸辺店	
小売市場	1 豊津振興市場	
-3.0010-30	2 豊津ファミリーショップ	
	1 東急ハンズ江坂店	
	2 コジマ NEW 緑地公園店	
	3 阪急百貨店江坂家具ショールーム	
	4 ミドリ電化南千里店	
	5 オートバックス吹田泉町店	
専門店	6 大塚屋江坂店	
41 개다	7 アオキ大阪千里総本店	
	8 オルボ新御堂筋本店(含ダイソー)	
	9 ミドリ電化吹田店	
	10 BOOK OFF 吹田関大前店 他	
	11 スポーツオーソリティデュー阪急山田店(デュー阪急山田]内)
	12 トイザらス阪急山田店(デュー阪急山田内)	
	1 コーナン千里山田店(山田北ショッピングプラザ内)	
ホームセンター	2 コーナン吹田インター青葉丘店	
ルームセンター	3 オージョイフル江坂店	
	4 ロイヤルホームセンター吹田店	
	1 北センタービル	
	2 東急ライブプラザブーミン	
	3 東急プラザオッツ (含ユニクロ)	
その他	4 北千里専門店	
	5 メロード吹田一番館	
	6 デュー阪急山田(含ユニクロ、ブックファースト)	
	7 ガーデンモール南千里(阪急オアシス南千里店、スーパー	・サンキョー)
.	/ 次東州 。[6円士紅女工作側 ビジョン

(資料:吹田市新商工振興ビジョン)

【コンビニエンスストア】

調査区域内には南吹田一丁目に1カ所、南吹田三丁目に1カ所の立地がみられる。周辺では江坂駅周辺に立地が多くみられる。そのほか、幹線道路沿いを中心に立地がみられる。

【医療施設】

調査区域内の医療施設として医院が南吹田一丁目に1件立地している。

周辺においては、江坂駅、JR吹田駅をはじめとし、駅周辺での立地がみられる。

【子育て関連施設】

調査区域内では南清和園町に吹六保育園が立地している。

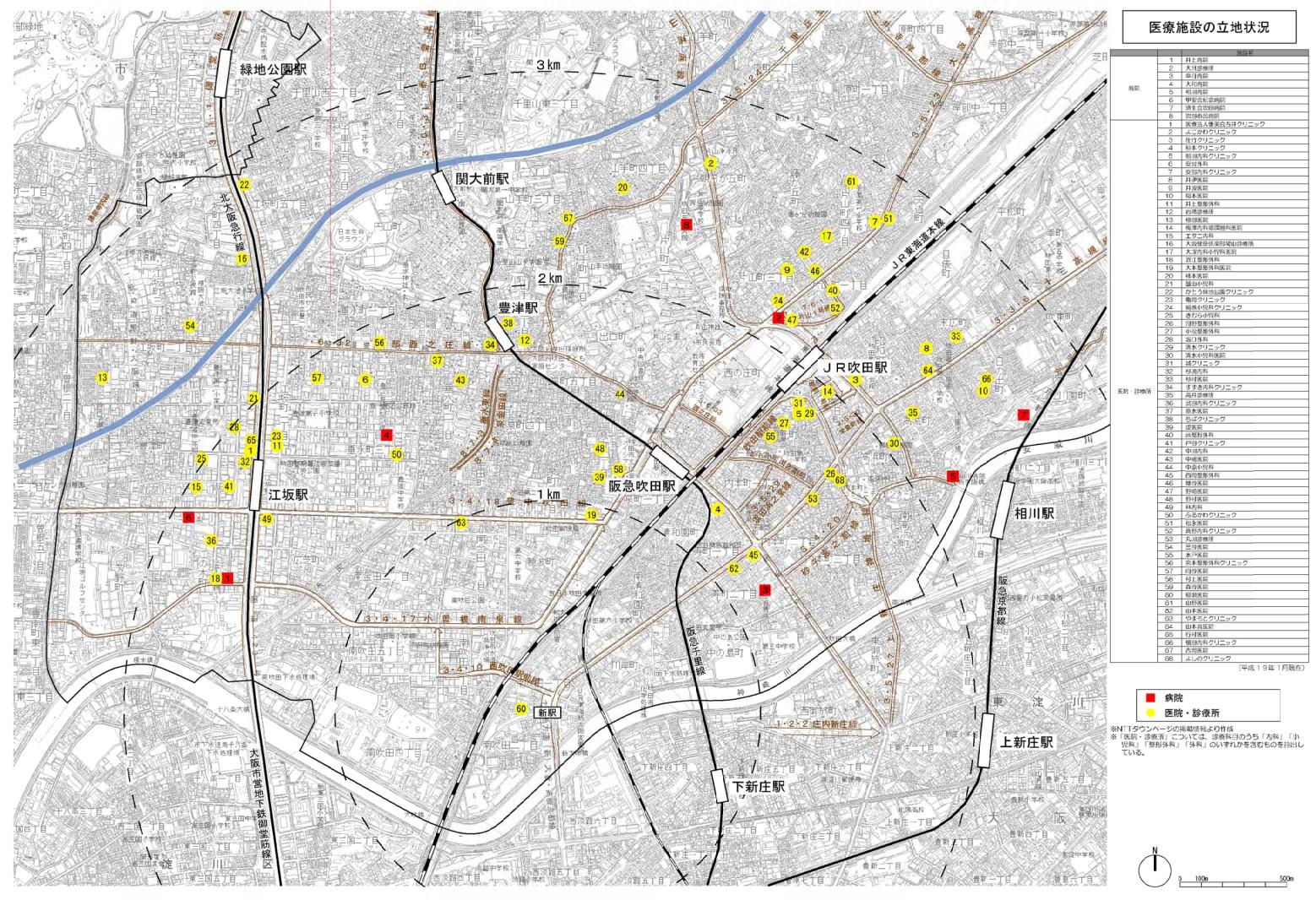
【高齢者福祉施設】

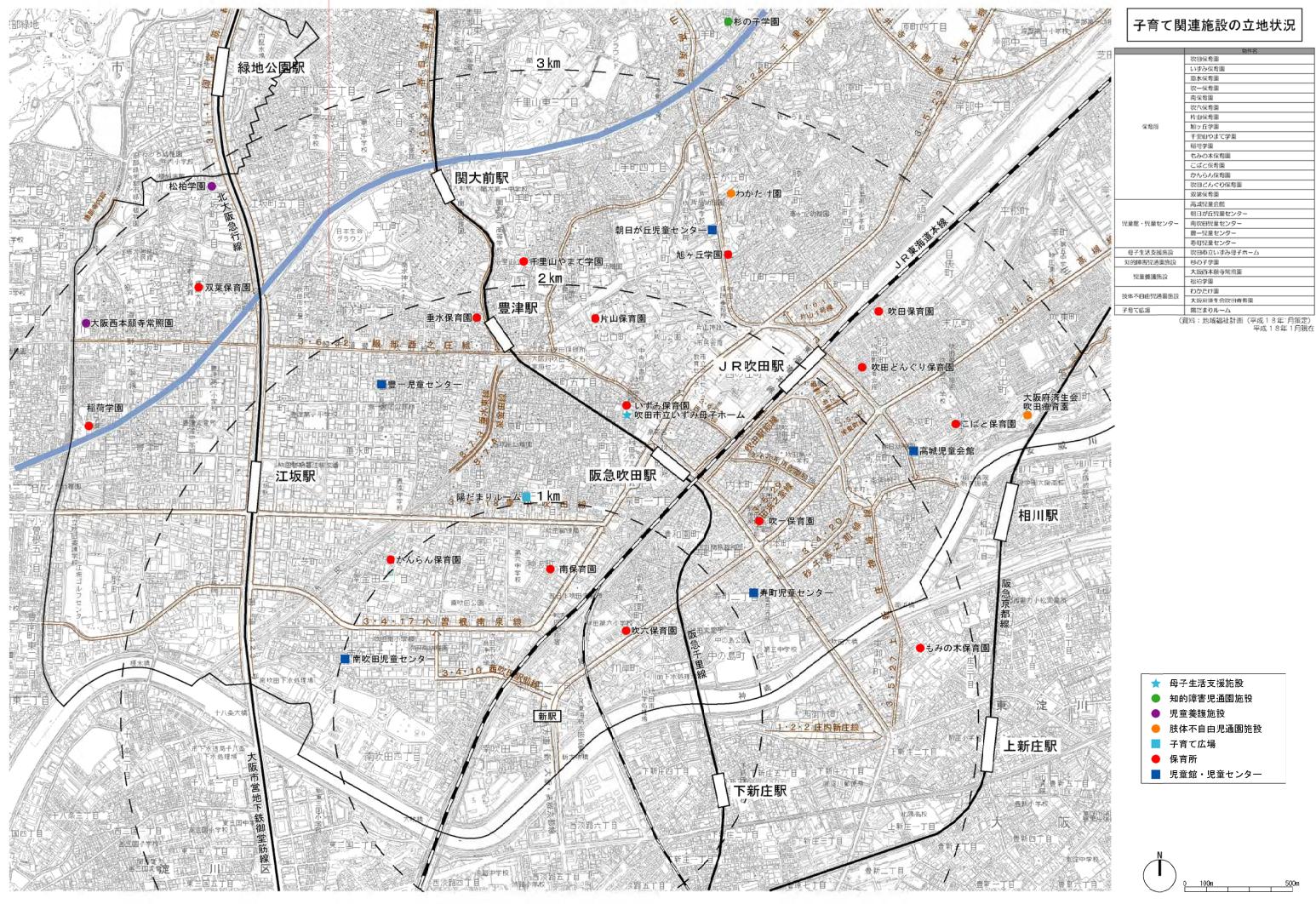
調査区域内には南清和園町に高齢者いこいの間が立地している。 周辺では南金田でデイサービスセンターやグループホームなどが立地している。

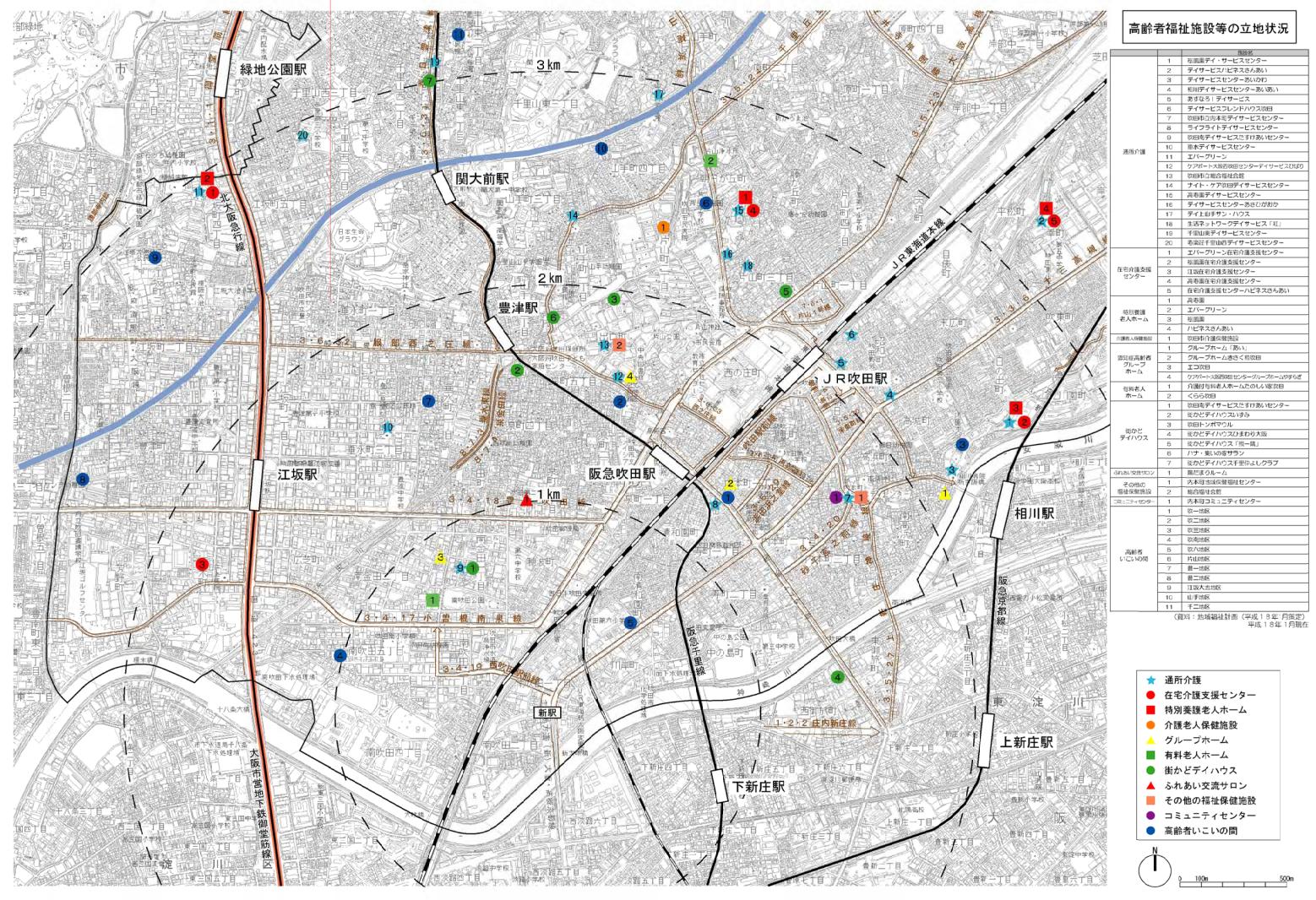
【障害者福祉施設】

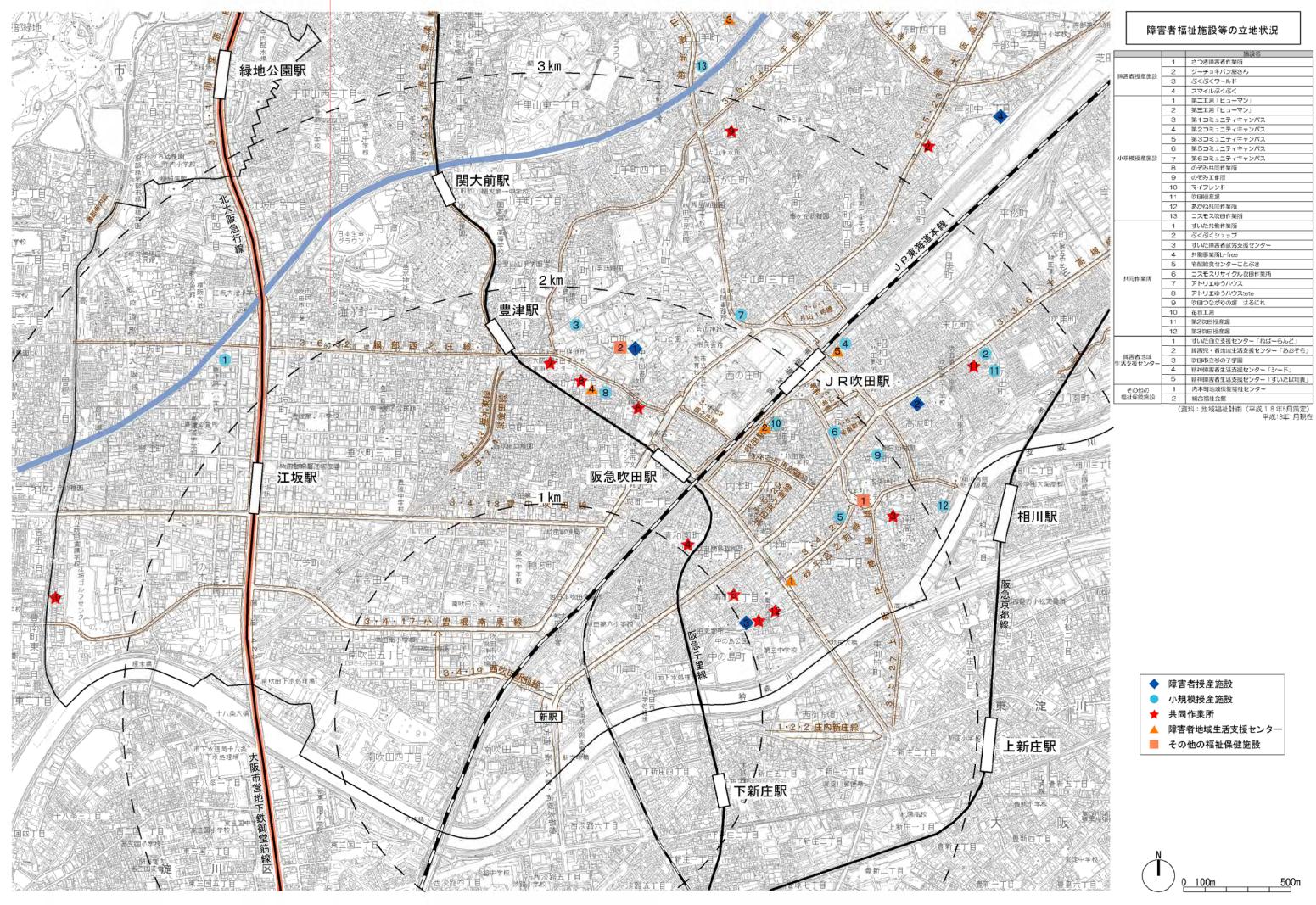
調査区域内では南清和園町に共同作業所が立地している。 周辺では寿町に共同作業所や授産施設などが立地している。

大型商業施設の立地状況 ●ロイヤルホームセンター吹田 吹田さんくす (含ダイエー吹田店、吹田さんくす専門店街) 緑地公園駅 サカエ江坂店 スーパー ファッションデポ吹田店 山甚ビル(含コーヨー北江坂店 ライフ吹田泉町店 BOCK OFF 吹田闖大前店他 オートバックス次田泉店 BOOK OFF 吹田関大前店他 大塚屋 江坂店 東急ハンズ江坂店 ロイヤルホームセンター吹田 ホームセンター オージョイフル江坂店 関大前駅 東急プラザ オッツ(含ユニクロ) 東急ライブプラザ ブーミン メロード吹田一番館 豊津ファミリーショップ 小売市場 豊津振興市場 (資料: 吹田市新商工振興ビジョン) 平成17年12月末現在 2 km 豊津駅 ト吹田一番館 ●豊津ファミルーショップ JR吹田駅 山甚ビル 吹田さんくす(ダイエー吹田店) ツションデボ吹田 サカエ江坂店 阪急吹田駅 大塚屋江坂店/ 急ハンズ江坂店 大田第二1 km 18 章 中 以一田 線 相川駅 江坂駅 ライフ吹田泉町店 急。 ●オージョイフル江坂店 ●関西スーパー 瑞光店 3.4-19 西欧 ショッピングセンター ● スーパー △ 食品スーパー 新駅 1 2 2 庄内新庄線 ● 専門店 上新庄駅 ホームセンター 水処理場 ● 百貨店(寄合百貨店) ● その他 下新庄駅 トリオト上新庄店 イズミヤ上新庄店 阪









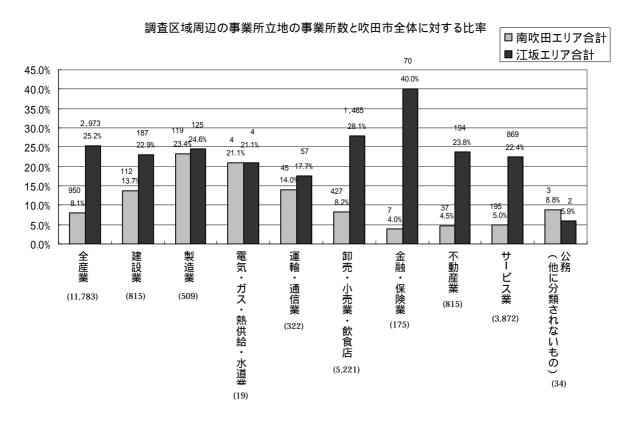
(10)産業

1)事業所

南吹田エリアには、吹田市の全事業所のうち 8.1%、江坂エリアには 25.2%の事業所が立地している。

南吹田エリアにおいて、吹田市全体に対して立地の比率が比較的高いものは「製造業」(23.4%)「電気ガス・熱供給・水道業」(21.1%)「運輸・通信業」(14.0%)となっている。

江坂エリアにおいては、「金融保険業」(40.0%)、「卸売小売業」(28.1%)などが比較的高くなっている。



()内の数値は市全体での事業所数

(資料:平成13年度事業所・企業統計調査)

	エリア内町丁目			
南吹田エリア	南吹田一~五丁目、南金田一~二丁目、穂波町、川岸町、南清和園町、清和園町			
江坂エリア	江坂町一~二丁目、垂水町三丁目、豊津町、広芝町、芳野町、江の木町			

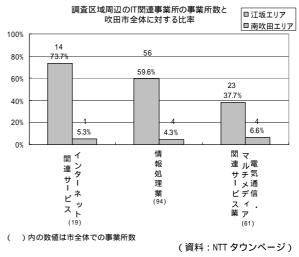
2) IT 関連事業所の立地状況

国土交通省の調査によると、吹田市はソフト系 IT 産業の立地数が、全国の都市比較の中で 44 位(平 成 18年3月現在)と上位に位置している。

南吹田エリア及び江坂エリアにおけるIT関連事業所の吹田市全体における立地比率を見ると、江坂 エリアにおいて、「インターネット関連サービス」19件中14件(73.7%)、「情報処理業」94件中 56件(59.6%)と過半を占めている。

ソフト系 IT 産業の立地数上位都市

順位	市区町村	2005 年 9 月 事業所数(件)	2006年3月 事業所数(件)	半年間の増減 (件)
1	東京都 23 区	9,975	9,910	-65
2	大阪市	2,757	2,759	2
3	名古屋市	1,408	1,389	-19
4	横浜市	1,182	1,131	-51
5	福岡市	1,085	1,095	10
6	札幌市	958	935	-23
7	仙台市	559	553	-6
8	広島市	530	536	6
9	神戸市	410	395	-15
10	京都市	420	390	-30
11	川崎市	390	380	-10
12	岡山県岡山市	312	307	-5
13	静岡県浜松市	275	278	3
14	新潟県新潟市	275	274	-1
15	石川県金沢市	274	271	-3
16	熊本県熊本市	261	262	1
17	静岡市	247	256	9
18	さいたま市	262	255	-7
19	北九州市	240	236	-4
20	千葉市	210	206	-4
21	香川県高松市	197	200	3
22	愛媛県松山市	192	189	-3
23	栃木県宇都宮市	176	184	8
24	長野県長野市	180	180	0
25	富山県富山市	171	170	-1
26	鹿児島県鹿児島	164	168	4
27	沖縄県那覇市	140	151	11
28	福井県福井市	143	144	1
29	大分県大分市	140	140	0
30	岩手県盛岡市	137	137	0
30	東京都八王子市	132	137	5
32	群馬県前橋市	134	133	-1
33	岐阜県岐阜市	138	132	-6
34	群馬県高崎市	125	129	4
35	宮崎県宮崎市	116	122	6
36	高知県高知市	117	121	4
37	長崎県長崎市	119	119	0
38	兵庫県姫路市	123	117	-6
39	東京都立川市	113	116	3
40		113	115	1
41	神奈川県相模原 広島県福山市	109	115	5
42	静岡県沼津市			1
		112	113	
42 44	徳島県徳島市	119	113	-6 2
44	秋田県秋田市	108	110	
	大阪府吹田市	123	110	-13
44	長野県松本市		110	1
47	茨城県水戸市	106	106	0
48	山梨県甲府市	92	100	8
49	山形県山形市	98	98	0
50	福島県郡山市	96	96	0



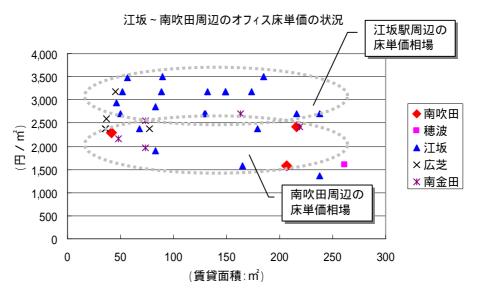
平成 19年2月現在

資料: ソフト系 IT 産業の実態調査 (国土交通省:2005年10月~2006年3月)

(11)オフィスの供給状況

江坂駅周辺と南吹田地域におけるオフィス床の賃貸料を比較すると、江坂駅周辺では 3,000 円/㎡前後での設定が多くなっており、南吹田周辺では、それよりも低い 2,000 円/㎡前後での設定が多くなっている。

江坂駅周辺のオフィス床の需給状況を見ると、賃料は下落傾向であるが、空室率は平成 15年(2003年)をピークに下がってきており、近年江坂駅周辺のオフィス床ニーズが高 まってきていると思われる。

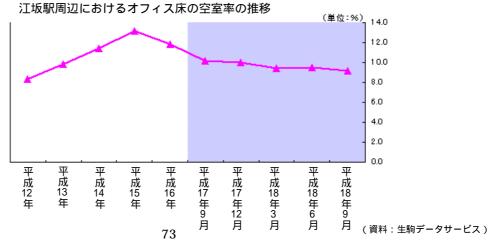


(資料:民間不動産仲介業者ホームページ掲載物件データより作成) 平成 18 年 12 月現在

江坂駅周辺におけるオフィス床の需給状況

	空室率 (%)	預託金 (円 / 坪)	募集賃料 (円 / 坪)
平成 13 年	9.8	122,200	9,500
平成 14 年	11.4	113,200	8,720
平成 15 年	13.2	107,600	8,660
平成 16 年	11.8	98,600	8,140
平成 17 年	10.0	93,500	7,830



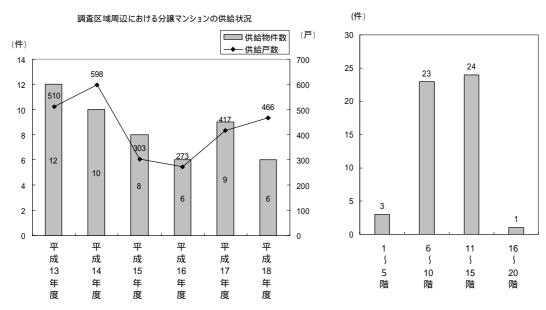


(12)住宅の供給状況

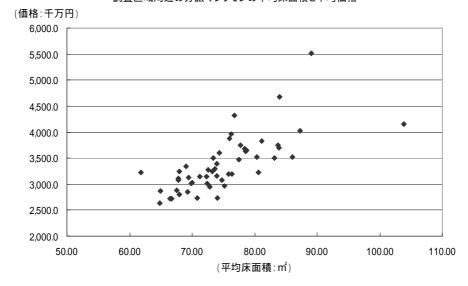
調査区域周辺半径 3 km圏の吹田市内における最近 5 年間の分譲マンションの供給状況を見ると、平成 13 年 (2001 年) ~ 平成 14 年 (2002 年) にかけては 500 件台、その後平成 15 年 (2003 年) 以降は 300 ~ 400 件台で推移している。

供給されている住宅は70㎡台、3,000万円台の規模、価格が中心である。

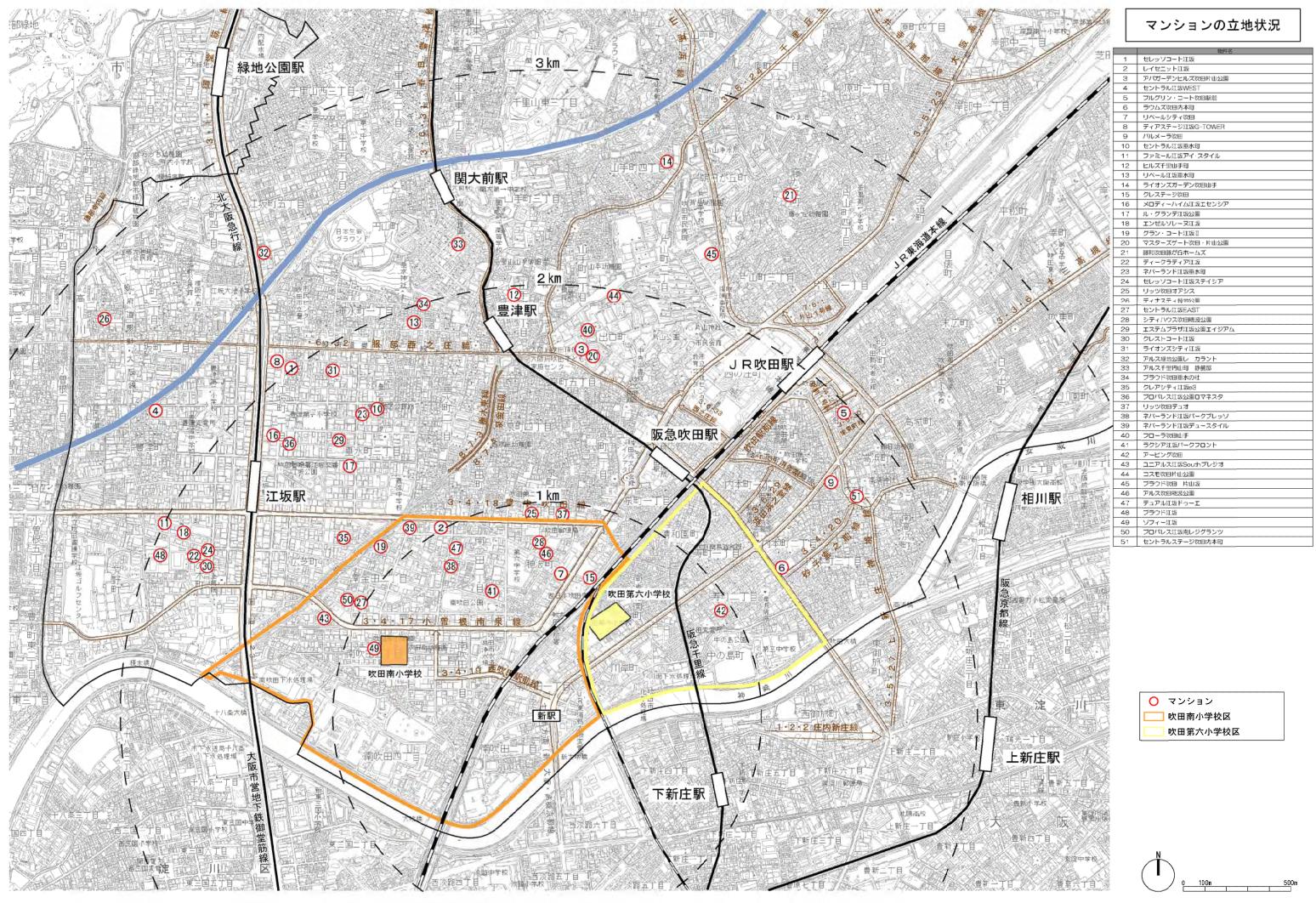




調査区域周辺の分譲マンションの平均床面積と平均価格



(資料: 読売広告社) 平成 13 年 4 月 1 日~18 年 10 月末現在



(13)歴史・文化

1)調査区域の歴史

調査区域を含む吹田市南部は、淀川・安威川・神崎川と千里丘陵を源流とする川から運ばれた堆積物で作られた平地になっている。地質は安威川・神崎川沿岸低地の沖積層で、約1万年前以降にできた比較的新しい地層となっている。約6000年前頃をピークとする縄文海進で海面が約6m上がり、その結果「吹田砂堆」を形成し、吹田の古い集落はこの上に形成している。

かつては海がすぐそばまで迫っており、海運などの交通の要衝となっていた。延暦 4 年 (785 年) 和気清麻呂により、神崎川と淀川を直結させる工事が行われ、西国から船便で大阪湾・神崎川を経由し京都へ向かう河港としても発達した。

また、「吹田の渡し」とともに西国街道・亀岡街道なども通っており、陸路・水路ともに西国と京都を結ぶ交通の要衝として発達した。宝永3年(1706年)には吹田村の一部が幕府直轄地の天領から仙洞御料(上皇の領地)となり、近年まで京とのつながりが深かった。

2)歴史・文化資源の分布

(農業空間としての歴史)

調査区域の歴史文化的基盤は農業にある。古来から淀川の氾濫と悪水の停滞に苦しんだ低湿地帯で、安土桃山時代から江戸時代にかけて多種多様な用排水事業が行われてきた。歴史的には、様々な用排水事業を背景に、「神内村外 67 ケ村申し合せ組合」という協議機関の設置が行われ、明治時代に入ると「水利土功会」が設置され、明治 26 年 1 月 28 日には神崎川と安威川の頭文字をとり「神安普通水利組合」に改組された。明治時代から大正時代にかけて、神崎川の直線化工事や、現在の排水系統の基盤となった第 1 次安威川改修工事、また、昭和 10 年・13 年の集中豪雨により被災した安威川の決壊に関連した神崎川改修工事、第 2 次安威川改修工事等に関連する様々な事業が取り組まれた。

そうした中、「神安普通水利組合」は昭和 24 年 8 月の土地改良法の施行にともない昭和 26 年 2 月 10 日「神安土地改良区」に組織変更された。その後、時代の農業環境に対応すべく水利施設の数々の整備、改善事業が実施されてきた。現在は本土地改良区の愛称を『水土里ネットしんあん』とし都市化の中でより地域に開かれ、より身近に感じてもらえるよう地域づくりに向けた事業にも取り組んでいる。

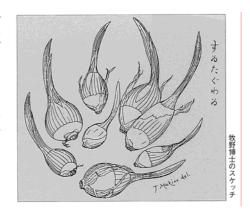
(馬廻り水路)

調査区域には、現在も「馬廻り水路」等の農業水路が残されており、都市化が進む中で残された農地に用水を引き、地域の原風景を留め貴重な潤い空間を担うとともに生物多様性の基盤としても、特徴あるまちづくりに活かせる重要な資源といえる。

(吹田くわい)

地域での農産物は、大阪近郊の商業的農業が発達し、米・菜種・木綿とともに、くわい・ 芹などの野菜栽培も盛んであった。特に「吹田くわい」と名付けられたくわいは昔より美 味として名高い。植物分類学者の牧野富太郎博士は、オモダカが肥沃な土地で成長進化し

た吹田原産であることを明らかにし学名を付与された。また、昭和 40 年頃に阪本寧男京大教授の研究で、野生と栽培の中間の「半栽培植物」として伝わった、遺伝学研究上世界的に貴重な品種であることが明らかとなった。栽培地は神崎川と糸田川と千里丘陵に囲まれた地域で清和園、泉、金田、穂波、南吹田であった。現在、「吹田くわい保存会」が結成され、栽培と保存に取り組んでいる。



3)歴史・文化資源の分布

調査区域は、「みんなで創る!歴史と文化のまちづくり(平成 16 年 3 月吹田市)」では、「吹田の歴史ゾーン」と「豊津・江坂の歴史文化ゾーン」に位置づけられ、各ゾーンの特徴は以下のとおりである。

[吹田の歴史ゾーン]

東に隣接する吹田発祥の地「吹田」は亀岡街道と神崎川が交差する付近にあった「吹田の渡し」周辺に形成された在郷町を母体に発展した。歴史と文化と街並みを今に伝え、新・在郷町として歴史・文化資源の保全・活用が求められている。吹田歴史文化まちづくりセンター、旧西尾家住宅が保全・活用されており、これらの活動拠点を形成している。

「吹田歴史文化まちづくりセンター」は吹田市の文化施設で、平成 15 年、歴史と文化のまちづくりにかかわる文化活動や交流の場として活用することを目的に、江戸末期の庄屋屋敷の寄付を受け、現在の姿に改修し再生されている。

仙洞御料時代の壮大な庄屋が、明治時代に改修され、建築家武田五一設計の離れなどがある旧西尾家住宅は、江戸、近代の地域文化を残す数少ない建物であり、市の吹田文化創造交流館として公開・活用されている。指揮者、作曲家、ヴァイオリニストとしても幅広く活動し、28歳という若さで亡くなった貴志康一の生家としても知られ、ミニコンサートなども行われている。

[豊津・江坂の歴史文化ゾーン]

一方、調査区域の西には豊津・江坂の集落とともに、北大阪線江坂駅を中心に大阪都心軸に結節した特徴的な企業と商業の集積ゾーンを創出し、新たな文化発信を続けている。企業文化のまちとしての文化の発信やふれあいのある文化のまちづくりが求められている。また、豊津の郷の歴史・文化・自然資源の保全と活用も課題となっている。

[神崎川]

これらの歴史を紡いだ「神崎川」は重要な歴史文化資源であり、この歴史の伝承と貴重な 都市の中の親水空間としての活用が求められる。また、吹田まつり(7 月下旬)では、ド ラゴンレースが行われ、地域の特徴的な年中行事として定着してきている。

[歴史・文化のルート]

また、これらをつなぐ要素として、亀岡街道などの歴史文化のみちと、安威川・神崎川などの親しめる水辺の整備が期待される。



(資料:「みんなで創る!歴史と文化のまちづくり」)